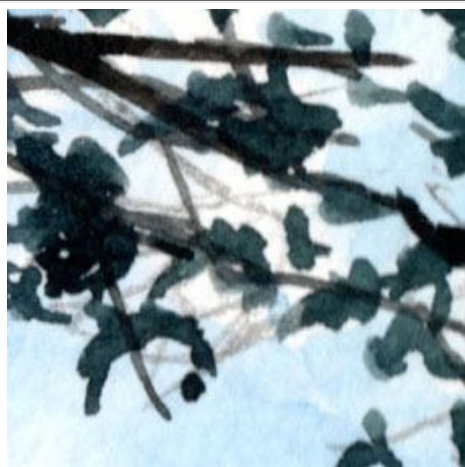


絵を少しでも描く者は「何に心を動かされ」「何を描き」「どのように描くか」を常に考えています。しかし描画で最も大切な要素は「構図」です。自然の風景を描く時はまず「遠景」「中景」「近景」のバランスを考えます。私の場合「近景」は触れる場所にあるもの、「中景」は歩いていける場所、「遠景」は容易には行けない場所と考えています。この絵も「構図」を意識して場所を選びました。



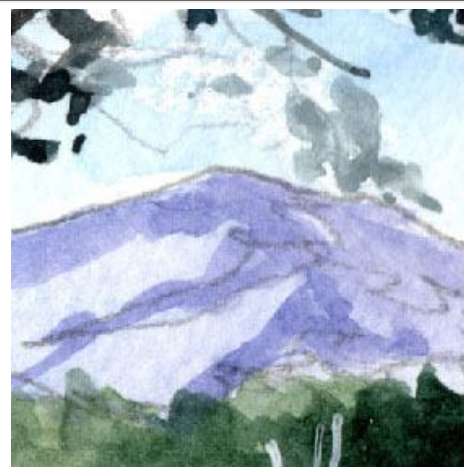
これが完成した絵です



1、逆光の構図なので 樹木の葉はほとんどシルエットで描きます。「シャドウ・グリーン」にブラックを混ぜて細い筆で描きました



2、葉が重なっている部分では 背景の空がほとんど見えないくらい シルエットがふえます



3、この構図では 主題の浅間山は遠くに小さく見えます 前景との対比で 明るく描きます



4、手前の樹木の幹も ほぼ完全にシルエットで描きます ところどころ白のパステルでアクセントをつけます



5、キャベツ畑は 相変わらずこんな表現しかできません はがきサイズなので 今のところこれで良しとしています



6、手前の樹木の影になっている部分は 草も濃い緑で描きます 先に画面下のほうを濃